

約4年
ぶりの

慰安旅行 in 沖縄



2月15日から沖縄旅行に行ってきました！

一日目はDMMかりゆし水族館やウミカジテラスなどに行ってきました！水族館では、ドクターフィッシュの体験が出来て楽しかったです(^o^)手もすべすべになった気がして嬉しかったです！笑

2日目は美ら海水族館に行ってきました！ジンベイザメを初めて見たのですがとても迫力のある大きさでした！笑 ホテルから水族館は遠い位置にあったのですが、移動中も景色が綺麗でとても楽しかったです！2日間とも運転して頂いた村田さんありがとうございました(*。u。)

沖縄にいる間楽しくて時間が過ぎるのがとても早かったように感じ、帯広に帰ってきてからすぐにまた行きたいなと思いました笑初の沖縄でしたが色々なものを食べたり楽しい経験をたくさんしたりしてとても満喫出来ました！！

阿部 久麗亜



2月17日～20日の間にて、沖縄に慰安旅行に行っておりまして。沖縄の気温は20℃超え、北海道でいうと7月並みで過ごしやすい気温でした。慰安旅行に参加した方々の内、10名ほどがゴルフをして過ごすとのことでしたので、私も同行させていただきました。練習不足のせいか良いスコアを出すことは出来なかったものの、当日は天気にも恵まれており、沖縄の景色を楽しみながらゴルフをプレーすることが出来ました。

ゴルフが終わり、ホテルに戻った後、ゴルフを行ったメンバーでアグー豚のしゃぶしゃぶを食べに行きました。豚肉と野菜の相性が良くとても美味でした。

私にとって、初めての沖縄、初めての鉄建の慰安旅行となりましたが、非常に楽しい思い出を作ることが出来ました。次の機会も是非慰安旅行に参加させていただきたいと思っております。

進藤 光泰





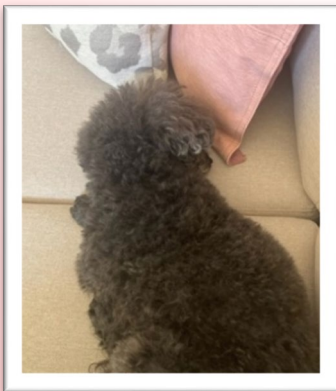
堀田社長編



2019年にタイのプーケットに社員旅行で行ってダイビングをした際に撮影した水中写真です。被写体はカクレクマノミとイソギンチャクです、クマノミとイソギンチャクは共生関係にあるので静かに近づかないとクマノミが危険を察知してイソギンチャクの中に隠れてしまうのでなかなか撮影が難しいです。

海の中にはいろいろな魚や生物がいます。体験してみるとたくさんの感動がありますよ、興味のある方はダイビングを始めませんか！

総務部 阿部編



私のお気に入りの1枚はこの写真です！

このワンちゃんは親戚の家の子です。普段私にあまり懐いてくれていませんが、寝るときにわざわざ隣に来て寝たのがとっても可愛かったです (^_^)

最近少しずつ懐いてきてきている気がしてすごく嬉しいのでこの写真がお気に入りです！

将来私も飼ってみたいな～と思いました(^.^#)

阿部久麗亜



「天才」

著者 石原慎太郎

この作品は2016年に初版発行された本です。あの豪快な田中角栄の半生を知りたく、発売日に購入しました。

著者の石原慎太郎は当時、参議院議員の時、田中角栄との金権政治を批判し対立していました。その後、田中角栄の政治家としての力量を称えたいという気持ちから田中角栄の半生を描いた作品でした。

Z世代の人は知っているだろうか？『第64代内閣総理大臣 田中角栄』はどのような事をした人物か？

自分も政治の事は正直そこまで知識が無いので深くは理解できませんが田中角栄はすごく革新的で力のある日本のドンと当時子供ながらに凄いおじさんだと言う記憶でした。

田中角栄は総裁選の時に政策として発表した「日本列島改造論」これは本にもなりベストセラーにもなった作品です。内容としては、当時全国的な高速道路、新幹線の開通、全都道府県への空港設置、資源の少ない日本での原子力開発など今の日本の交通網やエネルギー問題に対して多くの人々に影響を与えた人物でありました。ただ凄いのはこれ以外にもプライベートでは3人の妻、隠し子、今じゃ考えられない政治家だった。その後、有名なロッキード事件。これはアメリカの一企業から賄賂を受け取り失脚。それからの脳梗塞で倒れる。まあ色々あった人だった。今、問題になっている裏金問題、政治とカネ、当時はもっと凄かったんだろうと思う。田中角栄は今の政治を見たらどう思うだろうか？個人的に田中角栄は日本のことを一番考えていた人物であったと思う。



読み終えて思った事は、田中角栄は政治家としての達成感というよりは無念で終わってしまったように思えた。田中角栄の全盛期を知らない世代として興味深く読めた本でした。

鋼材センター 高橋博明

編集後記

四月10日から新年度ガスクートします。
みなさんご自身の目標を掲げ、取り組みを始め準備をされていることと思います。
私も「健康第一」を柱として、新年度の目標を掲げています。ただコロナ感染症が始まってから社会情勢の変化がとても速過ぎて、ついていけるかが不安です。
新年度でも更に改定されることがあると思われまます。取り残されない様「ホーシ」のような様に身を引き締めて、情報をキャッチできるように一年過ごしたいと思えます。
佐藤